



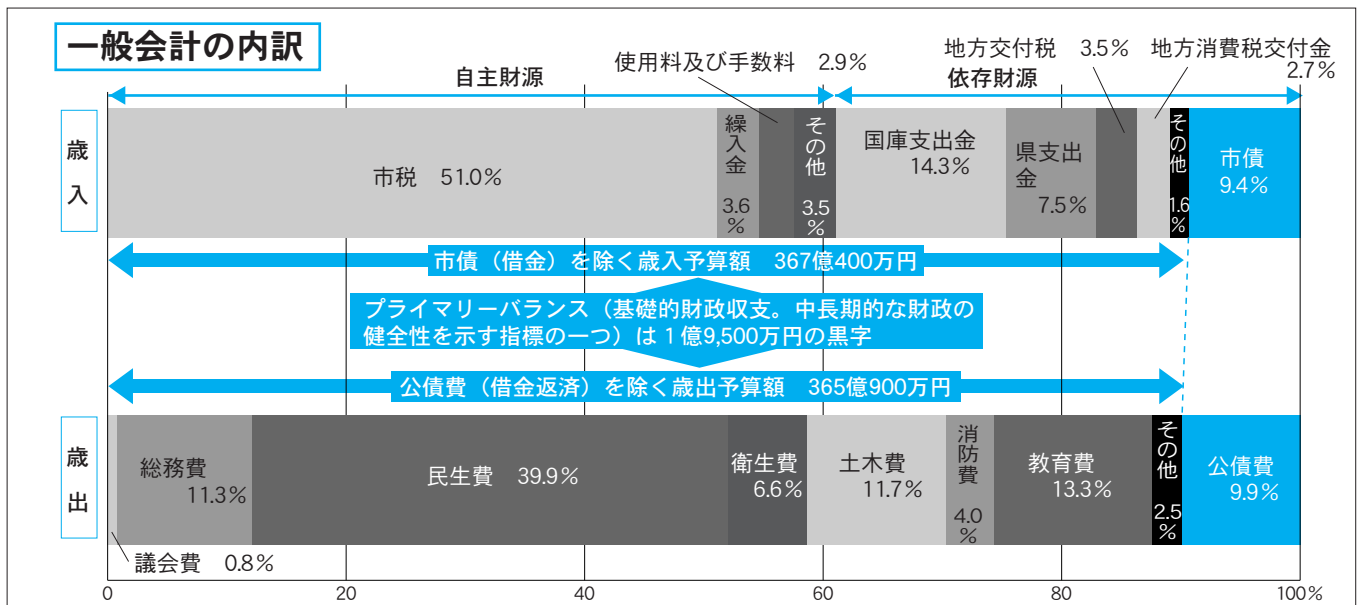
平成24年2月草津市議会定例会を2月29日から3月28日まで開き、平成24年度予算案、条例案等の議案37件が市長から提出されました。なお、議員からは、意見書7件を提出し、請願1件が紹介提出されました。



### 平成24年度当初予算

**一般会計 405億3,000万円** (対前年2%増)  
**特別会計 279億1,430万円** (対前年3%増)  
**合計 684億4,430万円** (対前年2.4%増)

一般会計は本市初の4百億円超の予算となりました。歳入は、個人市民税が子ども手当の制度改正に伴う年少扶養控除(15才以下)の廃止などにより対前年4億7,200万円(6.6%)増となる一方で、固定資産税が家屋の減価償却などにより2億3,000万円(2.5%)減となっています。歳出は、特別養護老人ホームや保育所の整備などによる民生費の9億5,300万円(6.3%)増や、給食センターの建て替えなどによる教育費の10億3,700万円(23.8%)増となっています。議会では予算審査特別委員会により、これら予算案の審査を行いました。



#### 予算審査における質疑応答/意見《予算審査特別委員会》

**議員** 財政状況の厳しさはどのような点にあると認識しているか。

**市** 社会保障費が年々10%ずつ増加しており、特に介護保険の予算増が著しいこと、法人市民税が10年前の6割に落ち込んでいること、扶助費などの義務的経費が全体の多くを占め、財政が硬直化していることなどが挙げられる。

**議員** 予算編成の方針は？

**市** 限られた歳入予算の中で、5つの重点施策(防災、教育、子育て、高齢者、まちづくり)に財源を充当し、無駄のない予算とすることで、効果的な市民サービスの実現とともに、将来にわたり健全な財政となるように予算編成を行った。

**議員** 既存事業を見直さずに重点施策を拡充した予算となっていないか。スクラップ&ビルドは十分か。

**市** 福祉分野の事業はスクラップ&ビルドがなかなか困難だが、今年度から第5次総合計画の施策評価結果を反映し、効果の低い施策は対象や手法を変えるなどの見直しをしている。今後は長期的な財政計画にも反映したい。

**議員** 地方交付税14億円が予算に組み込まれているが、今後の見通しはどうか。

**市** 市の需要額が収入額を上回ると国から地方交付税が交付されるが、本市において試算すると、収入額が今よりも約17億円ほど増えると不交付団体となるような状況である。

**議員** 現在の社会経済情勢からすると、予算どおりの収入を見込めるのか。

**市** 法人税については平成23年度決算見込みの1割減で予算計上しており、国が昨年末に発表した経済成長率予想は2%増であることに比べて市は20%減で見込んでいるなど、歳入確実な算定額であると考えている。

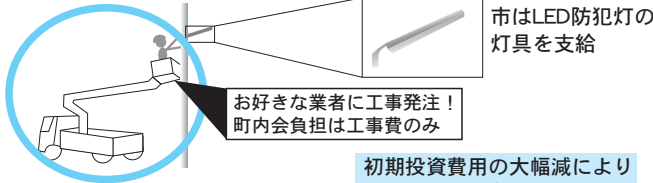
## 審議された主な予算案

### 防犯灯LED チェンジ事業費 670万円

#### LED灯具給付事業 550万円 (500灯)

平成24年度から3カ年限定事業として、蛍光灯で整備された市内防犯灯のLED化を図ります。

球交換が不要で長寿命省電力のLED防犯灯の整備を大幅に促進することで、環境負荷の軽減や町内会経費の低減を行いながら、良好な安全環境を創出します。



防犯灯設置工事のうち……

初期投資費用の大幅減によりLED防犯灯の普及促進

#### 予算審査における質疑応答／意見《予算審査特別委員会》

**議員** 市内の防犯灯を増やす必要性がある一方で、開発等により街路灯が設置され、防犯灯が不要になった場所については、電気代や環境負荷を考えると防犯灯を移転する必要があるのではないかと考えている。

### LED防犯灯補助金 120万円

町内会が独自に整備する防犯灯への補助金について、蛍光灯を補助対象から除外し、LED灯に限定するとともに、補助限度額の大幅な増額を行い、新設防犯灯のLED化を図ります。

	補助率	補助限度額
防犯灯と柱を新設	1/2	25,000円⇒40,000円
関電柱等に灯具を新設	1/2	6,000円⇒20,000円

	蛍光灯		LED
消費電力	22w	約60%減	8.4w
電気代(月)	216円	約40%減	127円
寿命	2年弱	約7倍長持	15年
本体価格	約7,000円	2.5倍高額	約18,000円

**市** 市街化が進む中で、先につけた防犯灯を移動することについて地域と協議をしていきたいが、既存のものを動かすことはなかなか難しいと考えている。

### 草津駅東口エレベーター整備費 1億5,902万6千円

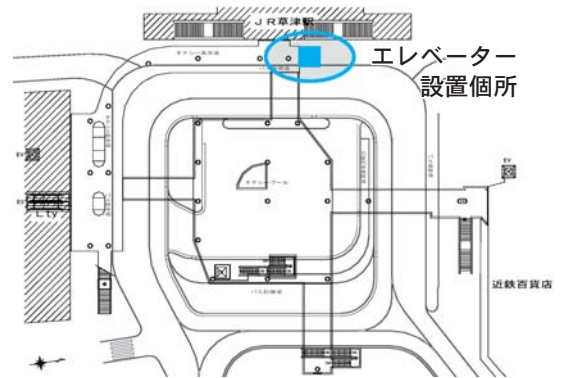
既存の民間エレベーターの利用時間の制限や位置的な問題により、多くの設置要望があることから、公共スペースにおけるバリアフリー化を実施し、歩行者の安全を確保するため、草津駅東口前に、**ペDESTリアンデッキ**と地上を結ぶエレベーターを整備します。

#### 予算審査における質疑応答／意見《予算審査特別委員会》

**議員** 草津駅舎は老朽化しているため、今後建て替えが予定されているのであれば、二重投資になるおそれがあるのではないかと考えている。

**市** エレベーター設置についてJRとの協議の中では、駅舎は耐震化をする予定と聞いており、二重投資とまでは考えていない。

**議員** エレベーター設置により地上のバス待合いの空間が狭くなるが、これについての通行者の安全



#### 対策を伺う。

**市** ベンチや公衆電話は移設し、バス停の位置はバス会社と協議の上で若干移動する計画をしている。また駅舎とエレベーターの間は2m空けて、歩行空間を確保する。

## 審議された主な議案

### 【議第15号】草津市介護保険条例の一部改正案 ～介護保険料の見直し～

平成24年度から平成26年度までの介護保険料の見直しについて可決しました。

月額基準額は4,964円(1,142円増)となっています。保険料は、月額基準額に、対象者本人や世帯の経済状況に応じた割合を乗じて算定します。

#### 条例審査における質疑応答／意見《文教厚生常任委員会》

**議員** 介護保険料は3年の改定ごとに上がっているが、今後も上がり続けたときの市の対応を伺う。

**市** 今後は団塊世代の高齢化が進むにつれて、介護サービスを受ける人数やサービス量は増加し、保険料も増えると予想しているが、皆さんが健康で、介護サービス経費を抑えられるような、介護予防策を考えていく。



**議員** 今回の改定は大幅な増額であり、被保険者に十分説明が必要である。特に高齢者に事前にわかりやすい周知方法を考えないといけないが、市の周知方法を伺う。

**市** 広報くさつ4月1日号に掲載するほか、チラシの郵送や市ホームページの掲載により周知する。また、地域ごとに出席講座の要請もあるので、そういった場でも周知していく。